

会議録要点記録

□全部記録 ■要点記録

1	会議名	姫路市子ども・子育て会議（令和3年度第2回）
2	開催日時	令和4年 3月17日（木） 13時30分～15時10分
3	開催場所	姫路市役所 北別館3階 講義室
4	出席者	<p><委員> 姫路市子ども・子育て会議 委員18名</p> <p><事務局> こども未来局長、教育保育部長、こども育成部長、教育企画室長、幼保連携政策課長、総合福祉会館館長、こども総務課長、こども支援課長、こども家庭総合支援室長、こども保育課長</p>
5	傍聴人数	2名
6	次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 姫路市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 未就園の3歳児を対象としたアンケート調査結果</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 3歳児に係る提供体制の確保方策について</p> <p>3 報告事項</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 「姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針実施計画（第1期）」の策定について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 重層的支援体制整備事業への移行について</p> <p>4 閉会</p>
7	配布資料	<p><事前配布> 会議次第</p> <p>姫路市子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>資料1：姫路市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>資料2：未就園の3歳児を対象としたアンケート調査結果</p> <p>資料3：3歳児に係る提供体制の確保方策について</p> <p>資料4：「姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針実施計画（第1期）」の策定について</p> <p>資料5：重層的支援体制整備事業への移行について</p>
8	会議の要点内容	以下のとおり
事務局	1	開会（13:30）

<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>2 議題</p> <p>(1) 姫路市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて</p> <p>【資料1：姫路市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて】説明</p> <p>何か質問はあるか。</p> <p>病児・病後児保育事業については、どのような見直しを考えているか。</p> <p>医療機関併設型の病児保育施設は利用者にとって利便性の高いものであり、利用実績の7～8割を占めていることから、引き続き医師会へ医療機関併設型施設の開設に向けた働きかけをしたいと考えている。見直しの内容としては、利用実績と確保内容に乖離があるため、確保内容について量的な見直しを行いたいと考えている。</p> <p>来年度、この子ども・子育て会議の審議が計画の見直しに対して重要となるので、委員の皆さまにはご協力をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>(2) 未就園の3歳児を対象としたアンケート調査結果</p> <p>(3) 3歳児に係る提供体制の確保方策について</p> <p>【資料2：未就園の3歳児を対象としたアンケート調査結果】説明</p> <p>【資料3：3歳児に係る提供体制の確保方策について】説明</p> <p>何か質問はあるか。</p> <p>資料2の「5調査結果」の(4)「④保育所・認定こども園に2号で申し込んだが入所できなかった。」の回答数は私立も市立も含んだものか。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>市立なのか私立なのかを記載してもらえればわかりやすいと思うが、この文章ではわかりづらい。</p> <p>アンケートの対象となった子どもたちは4月から4歳児になる。市立幼稚園で3歳児の受入れ希望者が多いとの結果だが、令和4年4月の市立幼稚園の定員は、全て埋まっています。入園できない状態か。</p> <p>令和3年11月時点の状況ではあるが、市立幼稚園の3歳児については8園中5園が定員に達しており、4・5歳児については定員に達している施設はない。</p> <p>市立幼稚園で3歳児保育を拡充するのは、今0歳、1歳の子どもが入園する頃になるのかと思うが、少子化で、姫路市でも生まれてくる子どもの数は減っている。市立幼</p>

事務局	<p>稚園で3歳児保育を拡充する頃には、結局、市立園も私立園も定員に空きが出るという状況が生じるのではないか。そのようなことが起こらないように毎年もしくは2年おきなど、見直しを行う形を取り入れた上で、姫路の子どもたちが3歳児になったら全員を受け入れることができる体制を作っていくことを基本としてほしい。</p> <p>現時点で考えているのは、来年度の初めに、まずは私立園に1号定員枠の拡大に係る照会を行う予定としている。その結果を踏まえ、それでもなお不足するようであれば、市立幼稚園の3歳児の受入れを検討し、できれば令和5年4月から開始することを目指したい。</p> <p>子どもの数は急激に減少しており、現時点では子どもが多い区域でも2年先や3年先には変化が見られることも考えられる。今後、市立幼稚園に関して、子どもが減った場合の対応を検討していかなければならないと考える。</p>
委員	<p>1号定員を増やすために2号定員を減らすことは現在認められていないが、今後そのような申出は認められるのかという声もある。また新設園により受入枠ができたり、保育所から認定こども園に移行する園もあり、1号認定の子どもの受入枠が増えている点なども考慮して取り組んでもらいたい。</p>
委員	<p>少子化が顕著に表れており、今年は特にそれを実感している。一方で姫路市においてまだこんなに待機児童がいるのか、と感じる。施設を利用できていない子どもがいるので市として真剣に取り組む必要がある案件であるのは理解できるが、これだけ利用できていない人数がいるのか疑問もある。</p> <p>幼稚園においては、施設としては受け入れられる規模はあるが、定員に縛られて施設に余裕があるが受入れができないという園が姫路市内にもある。2号定員を減らすことは認められないなど、受け入れたくても受け入れられないという状況もある。</p> <p>また資料によると、3歳児保育の拡充を検討するのは4ブロックとのことだが、近年少子化が顕著に現れているので、一度に全てのブロックで導入するのはどうかと思う。市立幼稚園の定員も当初は充足すると思うが、少子化の中で充足しなくなってくる可能性もある。間口を広げた分の経費のことも心配される場所である。一度に導入するのではなく段階的に導入してはどうか。</p>
委員	<p>現在、姫路駅前に住んでおり、次に3歳児になる子どもの保護者から聞くと、私立園で3年間の保育を希望する保護者が多い。市立幼稚園も3年保育があれば選択肢になったのかもしれないが、私立園の中には人気園もあり、3年保育を希望し私立園を何か所も併願しても抽選などにより入園できないという話も聞く。私立園は土地の制約もあり、もっと受け入れたいと思っても受け入れることができない状況。そういう意味では市立幼稚園で3歳児保育を導入するのも一つの方法と考える。</p>
事務局	<p>今までは定員総数を変えずに内訳の変更をお願いしてきたが、今回の3歳児保育の拡充に当たっては、施設的に1号認定を増加できるのであれば、別枠で私立園にお願い</p>

	<p>したいという趣旨である。事業計画上、1号の提供体制は充足しているが、市立幼稚園の定員が大きいままで実際の園児数は少なくなっている中、利用定員を見直していない現状もある。在り方方針実施計画の中で、廃園にする市立幼稚園も出てくるなど、市立幼稚園の1号定員を減らし、その分を私立施設に余裕があれば担ってもらいたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>令和4年度のできるだけ早い時期に、私立園の意向調査を行っていただきたい。少子化についてもコロナの影響が長引けばより一層進む懸念もあるが、バランスを取ってやってもらいたい。多くの都市では1号認定のニーズは多い状態ではなく、姫路市の特徴と言える。3歳児以上は無償化の対象となっており、この権利は保障するということを前提に対応してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>他の市町村では、市立施設の民営化、施設だけではなく職員も私立に移管するなど思い切った政策を行っているところもある。そのような点も含めて考えてもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後の市立施設の在り方についてはさらに考えていかなければならないと理解している。また姫路市の事業計画上、提供体制はブロックごとに考えており、また姫路市の特徴として園バスの利用が多いということもあり、居住するブロックとは別のブロックの園に通うなど、流動性が高い側面もある。そのような点も考慮して事業計画の見直しを行っていききたい。また市立園を丸ごと民営化ということに対しては、昨年度の子ども・子育て会議で、市立という選択肢も欲しいという意見もあり、市としてどのようなバランスを取っていくか検討し、この子ども・子育て会議で委員の意見を頂きながら考えていききたい。</p>
<p>会長</p>	<p>この問題は小学校との関係もある。保育所や幼稚園には校区という考え方がなく、特に私立は全市から園児を集めることができる。非常に多くの要素があり、姫路市全体の教育・保育の体系のあり方、配置を考えるに当たっては小学校や中学校までのことも考慮しながら進めなければならないと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>幼稚園連合PTA協議会としては10年以上前から3歳児保育の導入を要望してきたが、なかなか進んでこなかった経緯がある。今回のアンケートの結果でも3歳児保育の導入の希望、小学校との連携の点から市立幼稚園がよいという意見がある。資料3の3では「私立施設の定員増等により提供体制の増を図ったのち」とあり、アンケート結果は市立幼稚園に入りたいという保護者の声が多いが、まずは私立施設での定員増により確保を図った後、足りない部分を市立幼稚園で補うというのは矛盾があるのではないかと。幼稚園連合PTA協議会としては10年前から要望を行ってきたが、そのような意見は反映されないものなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>在り方方針の中でも触れられているが、提供体制の確保については、市立・私立の両方で確保を進める方針であり、今回の形としては、まずは私立園で確保できる部分は</p>

	<p>確保してもらい、それでも足りない部分を市立園で確保したいと考えている。アンケートでは確かに 50%が市立を希望するという結果になっているが、その前段階で先ほどの4つのブロックについては既に認定こども園の受入枠が埋まっており、申込みができなかったという方もあり、私立園で受入枠を確保した場合には私立園に入園する子どももいると考えている。</p>
委員	<p>財政的に厳しいということもあるのか。</p>
事務局	<p>市立園の場合、部屋数の問題や施設自体が古いという問題、また職員の確保が非常に難しいということもあり、市立幼稚園全てで3歳児を導入するとすると難しい。また、現状として4・5歳児の定員枠には余裕があることから、全園で3歳児保育を導入すると過剰となる恐れがある。</p>
会長	<p>研究者の立場からすると、公立から始まった幼稚園制度が普及する中で、私立幼稚園が非常に貢献されてきたという経緯がベースにあり、公私の関係で言うと経営面も含め私立園の妨害はしないということが前提になっていると思う。またPFIのような発想もあり、民営化の方向へ進んでいく。この方針も変わりつつあるが、まだまだ国是になっており、公共事業をできるだけ民間ベースでやっていくという発想が根底にあり、まずは私立で、不足する分は公立でという発想になる。これは行政の見解ではなく研究者の立場としての見解であるが、そのように政策が動いてきたとみてよいのではないかと考えている。</p>
委員	<p>4・5歳児が少ないとのことだが、それは3歳児の受入れをしてこなかったことが原因であって、3歳児保育があれば幼稚園に通う子どもはもっと多いはず。3歳児保育がないから私立に通うことになり、4・5歳児が少なくなる。先ほどの4・5歳児が少ないから3歳児も不要というのは発想が逆転している気がする。一方で先ほどおっしゃったことは理解できる。</p>
会長	<p>姫路市では長年にわたり5歳児のみの受入れが続いてきた歴史もある。国としては希望する3歳児が幼稚園に入れるようにという方向でやってきたが、姫路市では随分長く1年保育をやってきた。姫路市の幼稚園施策といえるもので、伝統があるといえるのかもしれない。無償化が始まっている中で入れない子どもがいることは問題。私立園でできる限り受け入れていただき、それでも足りない部分は市立園で対応するという考えだと思うのでご理解をお願いしたい。</p>
委員	<p>もし今後、市立園の民営化が進むのなら、アンケート結果にもあるような、小学校との連携を重視している点をしっかり引き継いだ園になってほしいと願っている。</p>
委員	<p>小学校との連携は、現在私立園でも行っており、子どもたちの関わりも小学校の先生と共有している。3～5歳児の担任には保育教諭として必要な学習を受けさせており、</p>

<p>委員</p> <p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>市立幼稚園に通っている子どもと認定こども園に通っている子どもに差がないように現場は努力している。</p> <p>事務局の説明でもあったが、人材の確保は非常に難しい。4ブロックで市立幼稚園の3歳児保育が導入されるのなら、最低でも4人の先生が市立幼稚園に流れるのかと考えるとつらいものがある。</p> <p>養成校に勤める立場からすると、エッセンシャルワーカーと言われる割にはこの領域に進学してくる高校生が少ないように感じる。小学生や中学生の頃から保育士の仕事をアピールしていかなければならないと感じている。そうしていかないとますます人材不足につながりかねない。</p> <p>姫路市のような大きな街で1号認定のニーズが多いのは意外である。今後もこのような流れは続くか考えるか。</p> <p>今後の見通しとしては、両親とも就労するケースが増えていると思うので、1号ニーズもどこまで続くのか疑問もあるが、現段階ではまだ1号の希望が多いと考えられるので、その対応は早急に進めていきたい。</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>3 報告事項</p> <p>(1)「姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針実施計画（第1期）」の策定について</p> <p>【資料4：「姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針実施計画（第1期）」の策定について】説明</p> <p>報告事項とのことだが、質問はあるか。</p> <p>城西幼稚園の周辺の園はたくさんあるが、日ノ本幼稚園は認定こども園ではないため保育料の無償化の対象ではないと思う。また、民間経営の施設に対しては、教育方針をできるだけ一定にするというような市からの働きかけは難しいのか。</p> <p>日ノ本幼稚園については、令和4年4月から新制度の幼稚園に移行予定であり、無償化の対象となる。</p> <p>また私立の幼稚園や認定こども園は、それぞれ建学の精神やそれぞれの理念に基づき運営されており、それを園の特色と捉えて、保護者がその園を選択している面もあり、市立幼稚園、保育所のように画一化を求めるのは難しい。</p> <p>幼稚園教育要領、保育所保育指針といった国の運営指針などに基づいて運営しているが、私立施設はそれぞれの理念で運営されており、逆にそれが、その園の魅力ともなりえる。市立があまりにも均一化されていることが問題だと言われることもあり、それぞれの園がもっと特徴的になった方がよいのかもしれない。</p>

事務局	四郷和光保育所は市立の認定こども園を目指すということか。
事務局	そのとおりである。
委員	市立幼稚園の閉園後の跡地利用はどのように考えているか。
事務局	まずは市立幼稚園を所管する教育委員会の中で跡地利用を検討することとなり、利用しないのであれば、次は姫路市として公共的な利用をするかどうかという話になる。その後は地元と協議を行ったり、入札により売却するなどもあり得るが、現段階では跡地利用については具体的には決まっていない。
会長	跡地利用について住民に事前に意見を聴くことはあるのか。
事務局	自治会等に意見を聞く場合もあるかもしれないが、市の財政の観点からは売却という可能性もある。
事務局	<p>(2) 重層的支援体制整備事業への移行について</p> <p>【資料5：重層的支援体制整備事業への移行について】説明</p>
会長	質問はあるか。
委員	民間団体との連携や、外国の方への支援はどうか。
事務局	ひきこもりの検討会ではNPO法人や民間支援者にも会議に参加してもらい、支援について検討している。外国の方への支援については、今後、意見をいただき検討していきたい。
委員	ひきこもりについては、PTA活動の中で実際に目にできており、このような相談窓口があるのはありがたいことである。しかし、現場では先生の家庭訪問も減ってきており、昔とは違って先生も家庭に踏み込みにくくなっている。また地域性によって温度差があり、どこまでこのプラン通りにできるのか疑問に思うがどう考えているか。
事務局	姫路市としては、ひきこもりサポート事業として、ひきこもりの方に対して毎週月曜、水曜と月2日土曜に、駅周辺において居場所を提供している。また飾磨保健福祉サービスセンターでは月1回のイベントを開催している。また、本人が外に出てくることは難しいところはあるが、年3回、相談窓口などについて自治会の回覧を通じて広報している。非常にナーバスな問題であり、教育委員会とも連携を図りたい。
委員	PTA役員を経験した中で、以前は家庭訪問などで親との距離感が近かったが、現在は、先生の働き方の見直しもあり、時間的な制約から先生方への負担が増えていると

	<p>いう声があった。学校の先生に負担を求めすぎると人材が集まらないということにもつながると想像する。その点について何か行政側からバックアップできないものかと考える。</p>
会長	<p>学校の職員の意見としてはどうか。</p>
委員	<p>確かに10年前などなら、学校に来ることが前提で保護者も教師も動いていたが、無理強いしていた面もあるのではないかという反省も踏まえ、今は、学校に来るのはもちろん大事だが、この子が10年後どのような社会人になってほしいか、という視点から関わっている。学校の職員として小学校や中学校だけの期間を考えるのではなく、このような視点を持って関わるという面はかなり浸透してきていると思う。また一度不登校になった子どもが大人になった際、再度ひきこもりになる場合が多いというデータもあり、やはり小さいころから子どもの充足感などを育てていかなければならないと考えている。</p> <p>行政には、居場所の提供だけでなく、就労につなげていく視点を期待したい。</p>
会長	<p>スクールソーシャルワーカーの関わりはあるか。</p>
委員	<p>徐々に配置されている。小学校では、課題を持った子どもだけでなくその保護者の心の支えになっているのが大きいと感じる。スクールソーシャルワーカーは教師が入りづらい保護者の状況を聞いてくれたりして非常に助かっている。</p>
会長	<p>行政としてはそれぞれ部署が異なると思われるが、広い視野を持って取り組んでもらいたい。</p>
	<p>(終了)</p>